

令和6年度 赤岡中学校 学校経営全体計画

【学校教育目標】

「主体性を持ち、自他を尊び、自己実現に向かう生徒の育成」
 ～ 授業の改革からはじまる ～

【めざす学校】

- ① 人権教育を基盤とした学校
- ② 保小中高の連携と地域との連携を中心軸に据え、協働して子どもを育成する学校
- ③ 地域や社会に期待され、信頼される学校

【めざす生徒】

- ① 自他の尊厳と正義を重んじ、心身ともに健康な生徒
- ② 学びの真理を希求し、なかまとともに学び、高めあう生徒
- ③ 自主性を持ち、自らの進むべき道を探求し、地域、社会、日本の未来を切り開く力を持った生徒

【めざす教職員】

- ① 教育に信念を持ち、学校運営ときょういく活動に組織として取り組む教職員
- ② 生徒や保護者の立場に立ち、次代の人材を育成する志を持つ教職員
- ③ 「和」を大切にする教職員

【研究主題】 「自ら課題を持ち、主体的・自律的に学び続ける生徒の育成」

豊かな心の育成

【中期経営目標】

- 自尊感情の育成・「褒める」・生徒の相互評価
- 人権教育・道徳教育を推進し豊かな人間性と確かな人権感覚の育成
- 基本的な生活習慣の確立

学力の定着を向上

【中期経営目標】

- 基礎学力の定着をめざし、学ぶ意欲を高め粘り強く取り組む生徒の育成
- 授業規律の確立と家庭学習の習慣化
- 生徒指導の三機能を高める授業づくり

信頼される学校

【中期経営目標】

- 保護者や地域との信頼関係
- 積極的な情報発信
- 地域に貢献できる学校

【短期経営目標】

- ① 学級活動や生徒会活動を通して自己肯定感の育成や共感的な人間関係づくりを進める。
- ② 「考え議論する道徳」の研究実践を推進する。
- ③ 【聴く】【考える】【語る】ことのできる生徒の育成を目指し、授業や学級経営の充実に努める。
- ④ 人権教育を推進し、自尊感情・共感的に理解する力・人間関係調整力・人権感覚を育む。
- ⑤ 体験的な学習、ボランティア活動、地域との交流などを一層すすめ、人とかかわりを豊かにし、その活動ぶりを紹介する。
- ⑥ 基本的な生活習慣の確立に努める。

【短期経営目標】

- ① 生徒にとってわかる楽しい授業を創造して基礎学力の定着を図る。
「赤中授業のスタンダード」「書く力の育成」
- 問いの共有からの課題設定
- 必然性のあるペア・グループ活動の設定
- 課題に沿ったまとめ・振り返りの充実
- ② 【聴く】【考える】【語る】【交流】することのできる授業を実践し、コミュニケーション力を育成する。
- 多様な意見を引き出し、絡み合わせる授業
- ③ 朝読書・赤中タイム・放課後補習の充実
- ④ キャリア教育を充実し、将来に夢や希望をもった生徒を育てる。
- ⑤ 家庭学習の習慣化に努める。
- 宿題・家庭学習ノート・学習委員会活動の取り組みを充実させる
- 基礎学力の定着をめざし、学ぶ意欲を高め粘り強く取り組む生徒の育成

【短期経営目標】

- ① 保護者や地域に対して学校通信等により、積極的に情報発信を行う。
- ② 参観日などの学校行事への保護者の参加が昨年度以上になるよう工夫する。
- ③ 生徒にとって安全で安心できる学校体制づくりを行う。
- ④ 学校運営協議会・学校評価を活用し、保護者や地域のニーズを反映する。
- ⑤ 地域・城山高校との避難所運営訓練など防災学習や人権学習を充実させ、保護者や地域の方を巻き込む実践を行う。
- ⑥ PTA活動の活性化。

【目標達成の具体的方策】（取組の重点）

- 1 すべての教育活動に生徒指導の三機能を位置づけた取組を、組織的・協働的に展開する。
- 2 教員が2チームに分かれ、チーム会を開き、組織的に授業改善を行い、授業力向上を図る。
- 3 生徒一人ひとりに居場所と出番を与え、活動させ、成功体験と役立つ喜びを体感させる。肯定評価し認める活動を実践する。
- 4 家庭学習の定着と放課後加力学習の取り組みを強化する。（学習委員会活動・家庭学習ノート・定期テストへの取り組み等）
- 5 共感的な人間関係が構築された学級づくりを推進し、人権が尊重される人間関係・学習環境・生活環境の充実に取組む。
- 6 「考え議論する道徳」の研究実践を推進する。
- 7 生徒会・専門委員会活動などにおいて、生徒が主体的に活動し、達成感や自己肯定感・自己有用感、共感的な人間関係を育てる。
- 8 コミュニティスクールによる、学校運営協議会を年間3回開催する。
- 9 赤中地区教育懇談会を中心とした連携教育を充実する。（授業研究、児童生徒の交流活動、教職員の交流活動）
- 10 南海トラフ地震等に備え、防災意識を高め、地域と共に避難訓練等の防災教育を推進する。